

# 三笑祭

さんしょうまつり

## 子ども達の笑顔が いっぱいあふれていました

第三小学校

昨年の11月1日(土)に第三小学校で三笑祭が行われ、大盛況でした。実行委員の皆さんをはじめ、保護者や先生方、そして、たくさんの子どもの楽しそうな笑顔が校庭や体育館いっぱいにあふれていました。



昨年の11月、2回目となる三笑祭を開催いたしました。当日は延べ1,021人の方にご来場いただき、広い校庭を走り回り、体育館では顔を寄せあい、楽しそうに笑顔を交わしあっていた子どもたちの姿に、みんなが元気ももらいました。

出店をいただいたたくさんの団体やグループの皆様、また、60人もの保護者ボランティアや子どもお手伝いの皆さん、そして、先生方と地域の皆様みんなが一緒になって、笑顔あふれるお祭りをつくることができました。皆様、本当にありがとうございました。

三笑祭2025実行委員会

# 水害対策

現在、国土交通省により、多摩川緊急治水プロジェクトとして、多摩川の洪水被害を防ぐための土砂の撤去工事が行われています。多摩川の底を1.5メートルほど掘り下げ、大雨時に増量する水をスムーズに下流に流していこうというもので、多摩川原橋から二ヶ領堰まで大規模な工事が行われています。

災害はいつ起こるかわかりません。皆さんも是非、日頃から身近な対策を考えておきましょう。

## 編集後記

西調布駅南口が大きく動き出していき、そんな年になりそうです。今年も又、様々な情報をお届けできればと思います。(吉)

相模原線の下で工事を行うショベルカー

# 季の花

「季(とき)の花」は第三小学校の校歌の一節です

広報誌 第60号

発行：第三小学校地区

まちづくり協議会

発行責任者：高橋一明

連絡先 042-481-7036

調布市協働推進課

## 調布飛行場航空機事故から 10年が経ちました

平成27年7月26日、調布飛行場を飛び立った5人乗りのセスナ機が離陸直後に富士見町の民家に墜落し、搭乗していた2人の方と民家の住人の方1人が亡くなるという悲惨な事故が起きました。あれから10年経った今も、あの時の衝撃は忘れることができません。まちづくり協議会としても、地域の安全の大切さとその思いを更に強く持ち続けていかなければと思います。



当時の報道記事

署名活動

事故説明会  
(調布中体育館)

飛行場管制塔

## あの日から10年・・・

10年前、富士見町で発生した自家用機の墜落事故の衝撃は今もはっきりと覚えています。事故の発生後、その恐怖を目の当たりにした、富士見町と上石原、飛田給の三町の自治会、そして、地区協議会の6団体の代表が中心となって調布飛行場周辺三町地域協議会を結成、東京都に被害者の救済と今後の航空機事故における安全対策等について働きかけを行ってきました。

調布飛行場を所有し、管理を行っている東京都との話し合いは決して容易なものではありませんでしたが、粘り強く、何度も協議を重ねる中で、一定の方向性を得ることができたものと思っております。

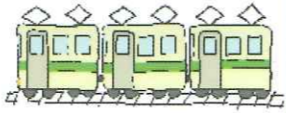
特に、飛行場の安全対策の強化と自家用機の運航の自粛、被害者の救済制度の構築について小池知事に宛てた請願書の署名活動において、7,136人もの皆様から署名をいただきましたことは、私たちの大変大きな力となりました。まさにこれが東京都を動かし、被害者の方々への迅速な救済や生活再建のための新たな制度の創設へとつながったものと思っております。

自家用機以外の空港への分散移転への取り組みも示されているところではありますが、この10年を機に、あらためてこの墜落事故を風化させることなく、飛行場の安全対策への取り組みについてしっかりと見守っていかねばと、気持ちを新たにしています。

調布飛行場周辺地域三町協議会会長 塚本 信之

# 西調布駅 南口の整備に向けて

西調布駅周辺整備  
街づくり協議会  
からの報告です



## 市の主催により「まちづくり懇談会」が行われました

1月9日（金）と10日（土）の2日間にわたり、西調布駅の南口にある実証実験スペースにおいて、駅周辺における地区整備計画案のパネルが展示され、地域の皆さんが自由にまちの課題や将来像などについて語り合える「まちづくり懇談会」が開催されました。

懇談会は市の主催で行われましたが、地域にとりましても、道路整備から生まれる快適性や安全性にとどまらず、にぎわいや交流の輪が広がるまちづくりに向けての貴重な意見交換の場となりました。

参加された皆さんからは、『にぎわいの創出に向けての工夫が必要。道路沿いを店舗に限定すると用途に融通性が欠けてしまうのでは。ゆとりある街並みが良いので最低敷地面積は100㎡は必要。北側と同じような街並みが良い。広場になる場所には緑が欲しい。』等々、様々な意見が寄せられました。



南口にある実証実験スペース



懇談会の様子（写真は調布市より提供）



## 道路やロータリーの整備とは別に広場の設置が検討されています

賑わいが少ない。駅前に休憩やくつろぐことのできる空間がほしいといった意見を基に、協議会と市で協議を行いました。現在、仮設で実証実験を行っているスペースが住民の方から好評で、その必要性が確認されたことから、イベントや交流の場になる広場（約180㎡）をつくらうという検討が進んでいます。

## いよいよ西調布駅から品川通りまでの都市計画道路事業がスタートします

1月9日に「都市計画道路3・4・31号西調布南口線（西調布駅南～品川道り）」が都市計画事業として認可されたことから、いよいよ南口の道路事業が始まります。

街づくり協議会としても、引き続き、市と情報を共有しながら、三小地区の広報誌“季の花”を通じて事業の推移などについて地域の皆様にお伝えしていきたいと思ひます。

計画の内容やご意見、詳しいことなど知りたい時は、是非、調布市にお問い合わせいただきたいと思ひます。

《担当部署》  
調布市都市整備部  
まちづくり推進課



道路事業をお知らせする看板も駅前に設置されました。



道路事業が始まる駅の南口周辺



## 第三小学校地区合同防災訓練

昨年の10月、地域の皆さんと第三小学校の全児童により、合同防災訓練を実施しました。三小地域を3箇所に分け、それぞれの区域にまちかど防災訓練会場を設置、地区ごとに救命講習や給水訓練等を実施しました。その後、三小に移動、校庭に集まった全児童と一緒に消防署による訓練を見学、防災意識の向上に努めました。 **第三小学校地区防災対策委員会**



3箇所の地域でまちかど防災訓練を実施



消防署の指導により児童達は消火やAD等の体験訓練を実施しました



## 宮の下分館（図書館）の建設に向けて工事説明会がありました

1月17日（土）、すでに第七機動隊跡地への移転が決まっている図書館宮の下分館の工事に向けた説明会が行われました。

説明会は調布市立図書館の主催で西部地域福祉センターにおいて行われました。

参加された方からは、現在の施設との兼ね合いや新しい建物への設計上の疑問や確認、旧機動隊施設を含めた地域環境の向上など、いろいろな観点からの質問や意見が出されていました。

機動隊の跡地にはすでに、保育園の建物が出来上がっていますが、その奥に分館の施設ができる予定で、来年の1月に竣工、移転及び供用開始については令和9年度の春以降ということでした。

建物は1階建てで、広さは床面積がこれまでより70㎡ほど広がるそうです。

新しくなった分館の内容については開館後にまた、皆さんにお知らせしていきたいと思ひます。



説明会の様子（調布市より写真提供）